

奥州市版SDGs アイコンのコンセプト・イメージ

アイコン	コンセプト・イメージ
	<p>人と人が手をつなぎあうイメージで、奥州市にしか作れない、真にオリジナルのアイコンとなるよう、『OSHU』をモチーフに作成しました。</p>
	<p>茶碗に奥州市のおいしい特産物というイメージから、市全域で作られている『米』を使用。</p> <p>さらに茶碗は、稲をご飯に見立て、『おいしい』口をしたデザインにしました。</p>
	<p>健康のイメージは『ハート』、しあわせのイメージは『クローバー』。</p> <p>これらを組み合わせてシンプルなデザインにしました。</p>
	<p>デジタル教育も進んでいますが、時代が変わっても色褪せない紙（本）で表現することとし、「自由に学ぶ＝読みたいものを誰もが自由に手に取れる図書館の棚」をイメージしたデザインとしました。</p>
	<p>『お互いを尊重し合う』というキャッチフレーズを、『1個の金メダルをかけ合う』デザインで表現しました。</p>
	<p>『永遠にきれいな水が出る蛇口』をイメージし表現しました。</p>
	<p>豊かな自然といえば森林、森林といえば樹木。</p> <p>また、エネルギーと言えば電気、電気といえばコンセント。</p> <p>豊かな自然とエネルギーを、この「樹木」と「コンセント」を組み合わせたデザインで作成しました。</p>
	<p>『働きがい』は企業（職場）そのものが作りだすべきもの！というイメージで作成しました。</p>
	<p>奥州市の先端技術として真っ先にあげられる、史上初のブラックホール観測に貢献した国立天文台をイメージし、ブラックホールとアンテナで表現しました。</p>

アイコン	コンセプト・イメージ
	<p>シーソーに左右対象のまちをデザインし、公平さを表現しました。</p>
	<p>歴史的建造物（古民家）と現代の建物が並んだ街並みをイメージし作成しました。 右端の建物はコンビニを表現し、「現代ならではの街並みの中に歴史的建造物が大事に残されている」ことが強調されるようなデザインとしました。</p>
	<p>奥州市のあらゆる資源を市章で『まるごと』に例えるとともに、リサイクルがイメージされるようなマーク（捨てない、無駄にしない）と組み合わせ、『まるごと余さず』を表現しました。</p>
	<p>どんな気候変動にも負けない大きな頑丈な傘がまちを守るイメージで作成しました。</p>
	<p>ゆっくり流れ、海までつながる北上川にしずくを合わせ、『きれいな北上川』がイメージできるようなデザインにしました。</p>
	<p>広葉樹と針葉樹それぞれをイメージしたものを並べ、広大で美しい森林を表現しました。</p>
	<p>『昼夜問わず永遠に安心・安全なまち』をイメージし作成しました。 「昼夜問わず」は昼夜の街並み、「安心・安全」はハートに見立てて表現しました。</p>
	<p>奥州市協働のまちづくり第3ステージのテーマ「つながる」と奥州市「協働のまちづくり」シンボルマーク※でパートナーシップを表現しました。</p>

※奥州市「協働のまちづくり」シンボルマーク

奥州市の「協働のまちづくり」を広く発信していくため、2016年12月に公募で選定。

水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川の5つを丸（和）で表現。丸をつないで奥州市の協働のまちづくりの市民の心のつながりを意味します。中心は発信と成長していく芽と希望を表します。